

●昭和53年2月20日印刷

●昭和53年4月1日発行

●編集・発行者 竹島紀元

●編集スタッフ

塚本雅啓／松尾定行／宮原正和
日比 彰／沖 勝則

●アートディレクト 岡田徹也

●発行所

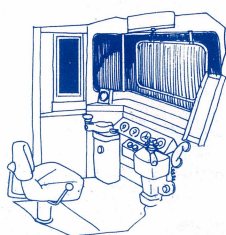
(株)鉄道ジャーナル社

〒102 東京都千代田区飯田橋4-8-6

日産ビル 電話03(264)1891・1892

振替口座 東京9-82820

●印刷所 凸版印刷株式会社



池袋駅で赤羽線国電が発車直後にATSブザーが鳴って緊急停車し引返すという事故があった。ATSの機器に故障はなく、運転士・車掌・駅員の信号確認ミスの疑いが強いというが、これが本当ならまたしても「タリミ事故」である。現在、国鉄には一日28,000本の列車が走り、名実ともに世界一の稠密ダイヤであるが、運転事故は走行100万キロ当り約0.1件と驚くほど少ない。安全輸送へのたゆみない努力の賜といえるが、一方で最近「タリミ事故」が増加しているのも事実である。高木総裁は近著『国鉄ざっくばらん』の中で「現場の仕事が単純業務の繰返しが多く、仕事がマンネリ化して張りが生まれてこない」「国鉄を支えてきた戦前のきびしい作業環境が失われ、仕事まで「自己管理」される時流に国鉄の管理体制が取り残されている」(要旨)と指摘している。かつて蒸気機関車時代、作業環境は劣悪で前時代的であった。現在の近代化動力車の運転台は驚くほど改善され、人間工学の思想も取り入れられている。これは時代の進歩であり、安全正確な運転はもちろん乗務員の健康のためにも大切なことであるが、肝心な精神面の努力を怠っては「仏つくて魂入れず」に終わってしまうだろう。

特大号価格 600円
〒60円

1978-4

もくじ

- 7 レールウェイ・レビュー 払戻しのルール
- 8 ニュース・ファイル(国鉄・私鉄・海外鉄道の動き)
- 14 車両基地

●特集①房総の鉄道

シリーズ・日本の鉄道④ 15 房総・成田

青木栄一/永崎祐之

- 31 房総半島かけあし散歩 宮原正和/沖 勝則
- 40 成田空港アクセス鉄道の解剖 種村直樹

●特集②運転台への招待

49 運転台への招待

編集部

イラスト・安達義寛

ED75/EF66/DE10/C62/485系/新幹線電車

京成AE車/キハ58/都電・新7000形

- 73 ATO列車の運転台を見る 大塚和之
- 新・RJメカニズム④
- 76 ATS
- 78 運転台の移り変わり 岡田徹也
- 80 運転台と人間工学 岡田直昭
- 85 私は電車を走らせた! 杉山昭親/松尾定行

動力車シリーズ④

89 183(189)系特急形電車

編集部

レールウェイ・トピックス

101 新幹線小山試験線がGO!

102 近鉄特急車12400系が営業運転に

山村定雄

104 ポスターと書物のドラマ④

佐々木桔梗

新・ヨーロッパの鉄道-4

106 ドイツの鉄道の光と影(前)

山之内秀一郎

112 トップ・アングル

119 てつどう・ざつがく④ 再び運賃について

本島三良

127 車両とともに30年⑭

田邊幸夫

133 パキスタンの交通事情①

安沢 明

139 タブレット

142 次号予告/ジャーナル編集室/乗務員室

ブルー・トレイン

◆ワイドレンズ(120)◆RJクイズ/鉄道友の会だより(121)◆鉄道記事ざっくばらん/魚眼(122)◆Q & A/ズームレンズ(123)◆書評/新刊紹介(124)◆外国雑誌紹介(125)◆マスコミと鉄道/伝言板(126)